

貸借対照表

(平成29年3月31日現在)

新日化エポキシ製造株式会社

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	千円	(負債の部)	千円
流動資産	3,344,623	流動負債	3,571,244
現金及び預金	716	支払手形	434,675
売掛金	883,250	買掛金	1,600,443
製品	1,271,676	リース債務	1,595
仕掛品	521,433	短期借入金	900,000
原材料	398,822	未払金	504,527
貯蔵品	67,627	未払費用	8
前払費用	28,268	未払法人税等	372
繰延税金資産	37,608	預り金	7,753
預け金	75,841	賞与引当金	121,868
未収入金	54,918		
未収消費税	4,186		
その他の流動資産	272		
固定資産	2,390,152	固定負債	924,499
有形固定資産	2,374,178	長期リース債務	1,728
建物及び附属設備	1,302,922	退職給付引当金	917,371
構築物	298,378	役員退職慰労引当金	5,400
機械装置	589,411		
車両運搬具	2,881	負債合計	4,495,744
工具器具備品	63,643		
リース資産	3,079	(純資産の部)	
建設仮勘定	113,861	株主資本	1,239,031
投資その他の資産	15,973	資本金	100,000
繰延税金資産	12,956	利益剰余金	1,139,031
その他の投資	3,017	その他利益剰余金	1,139,031
		繰越利益剰余金	1,139,031
		純資産合計	1,239,031
資産合計	5,734,775	負債純資産合計	5,734,775

〔個別注記表〕

I. 重要な会計方針の注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産

①製品・仕掛品・原材料

総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）によっている。

②貯蔵品

最終仕入原価法に基づく原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）によっている。

2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

主として定率法によっている。

平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物については定額法によっている。

無形固定資産

定額法によっている。

リース資産

残存価額をゼロとした定額法によっている。

3. 引当金の計上基準

賞与引当金

従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する金額を計上している。

退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産に基づき計上している。なお、退職給付債務の算定は簡便法によっている。

役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく当事業年度末における要支給額を計上している。

4. その他計算書類作成のために基本となる重要な事項

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

II. 会計方針等の変更に関する注記

(会計基準等の改正等に伴う会計方針の変更)

1. 会計方針の変更

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取り扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当事業年度に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更している。

なお、当事業年度の損益に与える影響は9,732千円の好転である。

III. 株主資本等変動計算書に関する注記

当期末における発行済株式の数

1,200株

IV. 金額の端数処理に関する注記

千円単位での表示については、千円未満を切り捨て表示にしている。